

豊通保険パートナーズ 障がい者施設へ作成発注

保険相談用店舗でノベルティ配布



作業に取り組む施設利用者

豊通保険パートナーズでは、障がい者の就労機会創出、施設との持続的協業関係の構築、および障がい者の就労活動を周知することを目的に、愛知県の豊田市障がい者総合支援センター「けやきワーカーズ」と愛西市の「NPO法人障害者雇用創造センター」の二つの障がい者施設にノベルティ作成を発注し、2月末から同社が運営する保険相談用店舗で同ノベルティの顧客への配布を開始した。

今回の取り組みは、寄付などの一過性の支援ではなく、毎年ノベルティ作成を依頼するといった「継続的な支援」により、障がい者の雇用創造・施設の収益確保支援へ貢献することを目指すもので、SDGsの「⑧働きがいも経済成長も」「⑩人や国の不平等をなくそう」へも貢献できるものとしている。

同社では昨年6月から今年2月末にかけて社内検討と商品開発を推進。ノベルティは、直接顧客への対応を行う同社運営

の保険相談用店舗「ほけん相談ステーション」のメンバーと共に、来店した顧客に喜んでもらえ、

やきワーカーズがデザイン・アイロンプリント・梱包作業を、障害者雇用創造センターがイラストの作成・梱包・発送作業を担当。ノベルティには、

支援に感謝しているなどの感謝の言葉が、また、作成に携わった障がい者に取り組むことができ、支援に感謝している」など

の感想が寄せられたという。

今回の取り組みについ

て、豊通保険パートナーズの吉田英穂執行役員は「保険代理店としてお客様に最適な保険をお届けするだけでなく、企業として持続的に地域社会・人ととの共存共栄を図り、豊かな社会づくりに貢献していくことを考えている」と説明。同社は今後も継続的に作成依頼を行い、地域社会へ貢献していくとしている。

継続的に作成依頼し地域社会へ貢献



ノベルティにはイメージキャラクターの「ティッピー」を採用、取り組みを紹介するレターも同封

よう、①年齢・性別を問わずいつでも使えるもの②孫・子どもに喜んでもらえるもの③保険相談時に子どもが遊べるもの④気軽に利用してもらえる消耗品への観点で検討を行い、結果、「エコバッグ」「子ども向けシール」「色鉛筆」「サランラップ」の4点の作成を行った。

装飾には同社イメージキャラクターの「ティッピー」を採用した。作成に当たっては、けやきワーカーズがデザイン・アイロンプリント・梱包作業を、障害者雇用創造センターがイラストの作成・梱包・発送作業を担当。ノベルティには、

また、ノベルティを実際に受け取った来店した顧客からは「キャラクターが可愛くてうれしい」という感想が寄せられたという。

**homai web
メールマガジン**

保険毎日新聞の紙面に掲載しているニュースヘッドラインを毎日お届けします。登録無料です！

保険毎日新聞の購読者でなくてもご登録いただけます。

詳細は
こちら▶

